

第24回五霞町青少年の主張大会

「日頃の考えや思い、また将来の夢などを力強く主張発表」

12月18日、中央公民館講堂において、第24回五霞町青少年の主張大会が開催されました。

大会当日は、小中学校で流行していたインフルエンザの蔓延を防止するため、小中学校の児童生徒、来賓・一般聴聞者に出席していただかないなか、発表者・審査員・学校関係者などで行われました。

発表では、小学生4名、中学生6名の10名の児童生徒が登壇し、日頃の考えや思い、また将来の夢などを力強く主張発表しました。

なお、表彰式は、2月13日に開催される五霞町教育振興大会で行う予定です。

大主張の青少年五霞24回



《受賞者名》 (敬称略)

○五霞町青少年問題協議会長賞

五霞中学校2年

金子 純香

○五霞町議会議長賞

五霞西小学校6年

中島 優菜

○五霞町教育委員会教育長賞

五霞西小学校5年

大久保 七海

○青少年育成五霞町民会議会長賞

五霞中学校2年

横田 彩華

○五霞町青少年相談員協議会長賞

五霞東小学校5年

鈴木 瑠奈

○優秀賞

五霞東小学校6年

福島 瑠璃

五霞中学校1年

大久保 駿

五霞中学校1年

木村 妃奈

五霞中学校3年

宇野 将

五霞中学校3年

小口 希恵

五霞町青少年問題協議会長賞 「祖父からもらった宝物」

五霞中学校2年

金子 純香



みなさんにとって「家族」とはどのような存在ですか。

もし、その家族の一員が突然いなくなってしまうとしたら、どんな気持ちになるでしょうか。そのときの私はまだ想像もしていませんでした。

この夏、家族の存在が私の中で大きく変わる出来事がありました。

私は五人家族です。両親と祖父母と暮らしています。食卓では、学校で起こった楽しかったことや嬉しかったことを話したり、最近話題のニュースについて意見を言い合ったり、当たり前毎日を楽しく過ごしていました。小さい頃は祖父と祖母と三人で買い物に行ったり、両親には内緒でアイスを買ってもらったりとたくさんのおもいがあつたりと、その祖父には心臓に持病があります。去年の三月、ペースメーカーを入れる手術をしたのです。その時は、これで祖父が長生きできるんだと心配ながらもホッとしてました。

話の使用を制限されるなど、祖父が自分で出来る事が減り、満足のいく生活を送ることが難しくなりました。

祖父の趣味は野菜づくりや植木の手入れでしたが、それからも遠のき、その姿を見て「なんで祖父が・・・」と、悲しくなると同時に悔しくなりました。どこかで仕方ないこととは分かっていても、手術しなければ祖父は生き生きと暮らせたんじゃないかと悔しくて悔しくてたまりませんでした。せめて私にできることはないかと、祖父が「やりたいこと」なら何でも手伝いました。一緒にいられる時間はとても楽しかったです。

今年の夏は猛暑が続き、祖父は、暑さのせいか食欲をなくし、体調を崩しました。

そして、ある日突然意識を失い、倒れてました。救急車で運ばれましたが、その二日後には帰らぬ人となってしまったのです。いつもの優しい顔をして眠る祖父を見て、涙がたくさんあふれてきました。

私は、「祖父にもっとしてあげられることがあつたんじゃないか。」という後悔と同時に、「もっとと祖父の生きてきた人生の話を聞きたかった。」、「もっとおばあちゃんとの思い出を聞きたかった。」、「もっと私の悩みを聞いてもらえばよかった。」、「もっとおじいちゃんにあり

がとうを言いたかった。」、「もっと、もっと・・・」。

この日から、ただなんとなく一緒に過ごしていたと思っていた家族の存在の意味を考えるようになりました。

祖父のように、人生はいつ何が起るか誰も予想できません。家族とは、かけがえないものなのです。もしお父さんやお母さん、おばあちゃんがいなくなったら・・・想像もしたくありませんが、後悔はもう絶対にしたくありません。

今でも、祖父と過ごした三年間、過ごしてきた思い出や感謝の気持ちがたくさん頭に浮かんできます。小さい頃よく遊んでもらったこと、悪さをして叱られたこと、一緒にテレビを見て大笑したこと・・・。その中でも、祖父が教えてくれた「人には優しく、自分には厳しく」という言葉を私は忘れません。

この言葉は私の宝物です。苦しいときや困ったとき、いつも胸にこの言葉が響きます。今大切な人と過ごしている幸せな時間は永久には続きませ

ん。みなさんにも大切な家族友達がいると思います。その大切な人達との時間を大事に過ごしてください。そして、恥ずかしながら感謝を伝えてください。その時間こそがみなさんにとって宝物なのです。